

# 地域の自然と人の中で 運動に親しむ環境づくり

学校名

岐阜県

にゅうかわ  
高山市立丹生川中学校

全校生徒数130名

(男子68名 女子62名)

実践  
内容

実施目的

- ①部活動は全員参加で、5種目の運動系の部があり、始業前から自主練習を行う生徒も多い。いつでも練習できるスペースを確実に確保することで自主的活動を目指す。
- ②地域に根付いた種目を部として位置付けることで、部活動の時間以外にも、地域の指導者のもとで運動することができる環境をつくる。
- ③生徒会行事や保健体育の時間、総合の時間に体育的活動を多く位置付けることで、地元  
の自然の中で運動に親しむ機会を増やす。

実施内容

## 1 運動機会の充実

### (1) 地域に根付いた部活動

- ①地域の大人が指導者として多くかかわり、地元の中学生を地元の大人が育てていく意識と環境がある。短期間ではなく、同じ指導者が10年以上コーチとして指導している部もあり、育成会と協力し合いながら生徒を指導している。
- ②小学校の頃に、スポーツ少年団で熱心に取り組んでいる種目を、学校の部活動にも位置付け、継続して取り組めるよう配慮している。

### (2) 大なわ大会

- ①4月に学級の仲間とやりとげた充実感を体得させることを目的とした大なわ大会を実施する。(生徒会主催) 練習は主に昼休みに行う。練習期間は2週間程度。
- ②体育祭の種目に大なわ跳びを位置付け、春の結果をもとに、さらに記録を伸ばし、相手チームに勝てるよう継続的に運動に取り組みさせる。

### (3) 駅伝大会

- ①授業で取り組む長距離走のまとめの学習として、校内駅伝大会を実施。クラスの平均タイムによって順位が決まる。
- ②中学校体育大会の駅伝大会出場に向け、全校生徒が取り組み、選手を選抜してチームを作り、朝や放課後に練習し、大会に出場している。

## 2. 運動環境の充実

- (1)保健体育の授業では、地域のスキー場でのスキー教室を実施。地元のインストラクターに指導を受け、全校生徒が楽しんで技能の向上を図る。
- (2)総合的な学習の時間に野外フィールド五色ヶ原研修を実施～8人のグループで約7kmのコースにある滝を見たり植物を見たりして、地元の自然の中を歩く。
- (3)グラウンド(野球部) テニスコート(テニス部) 体育館(男女バレー部) 町民体育館(剣道部、卓球部)と隣接した敷地内で、いつでも練習できるスペースが十分に確保できる。また、スキー部も地元スキー場の協力で練習ができる。

実施上で  
工夫した  
こと

- ①一部の生徒ではなく、全校生徒が参加して活動できる機会や環境を多く位置付けた。
- ②地域の大人が指導者となり、学校と協力をして生徒を見守り育てる体制を整えた。

主な  
成果



- ①運動することに抵抗がなく、楽しんで運動する生徒が増えた。
- ②昼休み、放課後などにグラウンド、体育館で汗を流して遊ぶ生徒が増えた。
- ③3年生の部活動引退後や卒業してからも、多くの種目で、顧問やコーチと一緒に後輩の指導に協力する生徒が出てきた。



大なわ大会

1チーム15人程度で5分間での累積記録



校内駅伝大会

学校周辺2Kmコース(男女別)



全員加入の部活動

中学校体育大会地区大会2位の野球部



地域に根ざしたスポーツ

中学校体育大会県大会2位の男子卓球部



地元開催での全国大会

6人が参加し、女子大回転では2位入賞



スキー教室

レベル別にグループ分け、レッスンを受ける



五色ヶ原研修①

ガイドさんの説明を受けながら地元の自然を知る



五色ヶ原研修②

山道を歩きながら自然探索